

平成 31 年度の予算

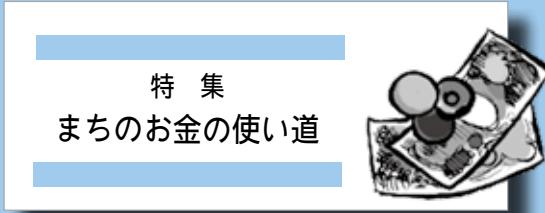
平成 31 年度予算をお知らせします

当初予算合計

610 億 8,600 万円 前年度対比
6.6%減

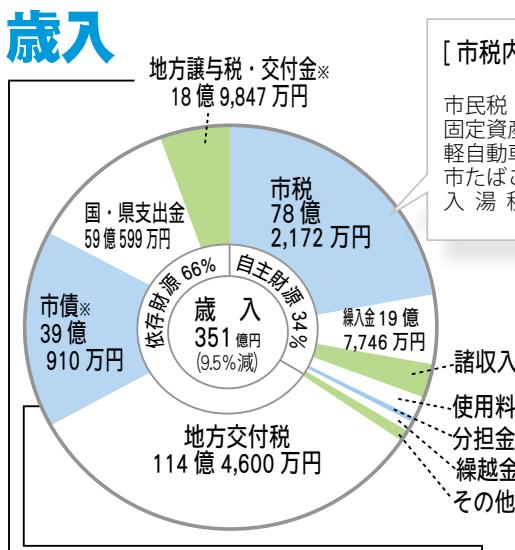
一般会計	351億円(前年度対比9.5%減)
特別会計	159億2,700万円(前年度対比5.8%減)
公営企業会計	100億5,900万円(前年度対比3.4%増)

※公営企業会計予算は、収入と支出を比較し多い方で表示。



① 一般会計 351 億円

前年度対比 9.5% 減
福祉や教育、道路整備などにかかる基本的な会計です。

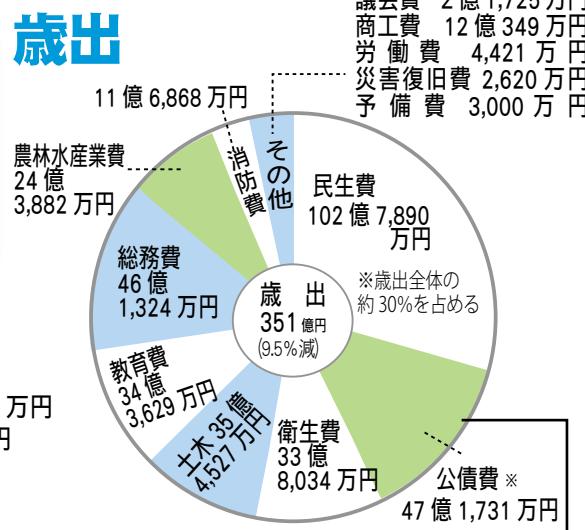


[市税内訳]	
市民税	31億5,040万円
固定資産税	40億7,511万円
軽自動車税	2億4,460万円
市たばこ税	3億5,150万円
入湯税	11万円

- ・諸収入 10 億 5,827 万円
- ・使用料および手数料 5 億 5,838 万円
- ・分担金・負担金 1 億 1,619 万円
- ・繰越金 2 億円
- ・その他 2 億 842 万円

※ [地方譲与税・交付金]

- ・地方譲与税…地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税、森林環境譲与税
 - ・交付金…地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金



※ [公債費]

市債（借金）の元金と利子の返済に要するお金。平成17年度から平成30年度までに約194億円の繰上償還（返済）を行うことにより、市債残高が平成17年度末と比べて約93億円減少する見込みです。前年度市債借入見込額の増により、公債費が前年度対比1億8,229万6千円の増額になっています。

***総務費** テレビ難視聴
解消事業、資産税賦課徴
収事業などの増額によ
り、前年度対比3・4%
の増加。

***民生費** 幼児教育・保
育推進事業など増加要因
はあるものの、幼保一元
化事業の減額などによ
り、前年度対比10%の減
少。

***衛生費** ミルネ診療所
の開設など増加要因はあ
るものの、看護専門学校
特別会計施設整備費繰出
金などの減額により、前
年度対比45・1%の減少。

***農林水産業費** 有機セ
ンター管理事業、地籍調
査事業などの増額によ
り、前年度対比4・5%
の増加。

***商工費** 企業誘致推進
事業、商工振興事業など
の増額により、前年度対
比12・9%の増加。

***土木費** 国庫交付金等
道路整備事業、下水道事
業会計繰出金などの減額
により、前年度対比0・
8%の減少。

「飛躍の“丹波市元年” 2019」

平成31年度は、これまでの準備を結実させ、飛躍の年になるよう各事業に取り組みます。また、希望ある持続可能な自治体経営を目指します。

当初予算は、一般会計が351億円で、前年度対比9.5%減少。特別会計と公営企業会計を含めた総額は、610億8,600万円で、前年度対比6.6%減少しました。

これらの予算をもとに、中長期的な視点を見据えた将来ビジョンを分かりやすく市民の皆さんに示し、市民との意思疎通を欠かさず、「聞く」「話す」「決める」をモットーに市政を前に進めていきます。

② 特別会計

特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計です。



△は前年度対比減

会計別	主な使い道	予算額	増減率(%)
国民健康保険特別会計事業勘定	国民健康保険加入者を対象とした医療給付	69億4,000万円	△3.3
国民健康保険特別会計直診勘定	青垣診療所の運営	2億2,980万円	4.4
介護保険特別会計保険事業勘定	65歳以上で要介護認定を受けた対象者への介護給付	72億6,400万円	4.7
介護保険特別会計サービス事業勘定	地域包括支援センターの運営	20万円	△99.1
後期高齢者医療特別会計	75歳以上の方を対象とした医療給付	9億6500万円	6.5
訪問看護ステーション特別会計	在宅介護支援サービスの提供	4,080万円	117.0
地方卸売市場特別会計	卸売市場の管理	260万円	0.0
駐車場特別会計	月極・一時駐車場施設の管理	2,110万円	86.7
看護専門学校特別会計	丹波市立看護専門学校の運営	2億4,650万円	△82.6
農業共済特別会計(収益的収支)	農業共済金の支払いなど	2億1,700万円	6.2
総合計		159億2,700万円	△5.8

歳入全体に占める自主財源の割合が高いほど、自主性・安定性があるとされています。

自主財源
市独自の収入
119億4,044万円

依存財源
国や県からの補助など
231億5,956万円

今後の課題！

「自主財源」の比率は34%で、中長期的にみても市税を中心とした自主財源を増やし、財政基盤を強化することが必要です。



③ 公営企業会計

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計です。

会計名	主な使い道	予算額	増減率(%)
水道事業会計	施設・設備などの維持管理・水道施設	38億2,900万円	9.5
下水道事業会計	整備など	62億3,000万円	0.0
企業会計合計		100億5,900万円	3.4

注1) 公営企業会計の予算額は、収入と支出を比較し、多い方で表示しています。

* 緑入金
特別会計など一般会計以外の会計から繰り入れるお金や、積み立てた貯金(基金)を取り崩したお金など。

* 国・県支出金

国や県から交付されるお金。特定の事業などに対して交付されるため、使い道が限定されている。

* 地方交付税

市が一定水準の事務を行うことができるよう、自治体間の税収の差を調整するため国から交付されるお金。使い道は、市の自主性に任されている。

用語解説

*** 公債費** 前年度市債借入見込額の増額により、前年度対比4%の増加。
*** 教育費** 水上回廊水栓設備事業などの増額により、前年度対比8.3%の増加。
*** 消防費** 消防活動車両整備事業などの増額により、前年度対比8.3%の増加。

**継続 「強くてやさしい安心社会」をめざして
復興5年イベント シンポジウム開催**

平成26年8月の丹波市豪雨災害から5年を迎える、被災地における災害の教訓を広く発信し、今後の防災、減災へつなげるための復興5年イベントを開催します。

とき：8月18日（日）

ところ：ライフピアいちじま・三ツ塚史跡公園

【予算額】236万6千円

復興推進室☎ 85-4622

②安全・安心なまちづくり

**継続 地域医療の中核拠点の整備
健康センターミルネ整備事業**

平成28年度に着工した「健康センターミルネ」の整備が完了し、市の保健、医療、福祉、介護を担う施設として開設します。

【予算額】

2億185万8千円

地域医療課☎ 82-4611



③保健・医療・福祉・介護の連携

**拡充 日常生活を支える公共交通の充実
鉄道・路線バス・デマンド型乗合タクシー**

各公共交通の連携した利活用が図られるよう、バランスを重視しながら、公共交通の維持・発展を目指します。

■新たな取り組み

・路線バス再編に伴う運行支援の拡充・利用増進施策の開始 ほか

【予算額】1億4,107万3千円

都市創造課☎ 88-5360

④くらしを支える都市基盤の構築

**新規 創業から経営力向上までの相談機能を充実
丹波市産業サポートセンター（仮称）事業**

市内事業者の新たな事業活動をサポートするため、コーディネーターやアドバイザーを設置するなど、フォローアップ体制を整えた支援拠点として、丹波市産業サポートセンター（仮称）を設置します。

【予算額】1,120万円

新産業創造課☎ 74-1464



⑤産業振興の強化・充実

平成31年度予算

「飛躍の“丹波市元年”2019」

10個の重点施策から主な事業をピックアップ



**継続 シティプロモーションの集大成
シティプロモーション推進事業**

2年間の取り組みの成果を活かしながら、ターゲットイヤーとする平成31年度にシティプロモーションの集大成としてさらに関連事業を展開し、「訪れたい、交流したい、買ってみたい、住んでみたい、丹波市」の持続的な発展に向けて取り組みます。

【予算額】2,891万7千円

シティプロモーション推進室☎ 88-5600

①シティプロモーションによる地方創生

**新規 市民と共にこれからの未来を考える
市制施行15周年記念事業**

11月に丹波市制施行15周年を迎えるのを記念して、式典や関連イベントを実施し、市民とともに祝い、これからの丹波市の未来を考えていくきっかけとします。



【予算額】335万円

総務課☎ 82-1002

①シティプロモーションによる地方創生

**新規 「氷上回廊」を広くPR
水分れ資料館のリニューアル**

来年8月のリニューアルオープンをめざし、開館から約30年が経過した水分れ資料館を「氷上回廊」の特性を総合的に発信できる施設へとリニューアルします。

【予算額】

1億1,519万5千円

文化財課☎ 70-0819



①シティプロモーションによる地方創生

新規 一人ひとりが活躍できるまちづくり 市民プラザを開設

市民活動や地域づくりを支援する「丹波市市民活動支援センター」と、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを行う「丹波市男女共同参画センター」を併設した「丹波市民プラザ」を10月に開設し、市民の皆さんのが主体となったまちづくりを支援します。

【予算額】7,950万8千円

市民活動課 ☎ 82-0409



新規 質の高い就学前教育・保育の実施 幼保無償化・子育て世帯の負担軽減

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、10月から、3～5歳児の保育料・0～2歳児の非課税世帯の保育料を無償化します。

【予算額】23億2,534万7千円

子育て支援課 ☎ 77-0201

学校教育課 ☎ 70-0811



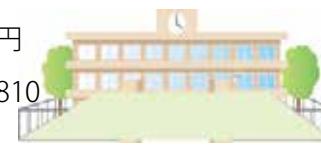
継続 統合準備委員会の継続

山南地域市立中学校の統合

山南地域における市立中学校の統合を円滑に実施するため、丹波市山南地域市立中学校統合準備委員会を継続して設置し、統合に必要な事項について協議や検討をします。

【予算額】40万3千円

教育総務課 ☎ 70-0810



そのほかの主な新規事業 ※カッコ内は予算額

市民憲章の制定（68万7千円）、119番通報における「多言語電話通訳システム」「Net119緊急通報システム」の導入（403万9千円）、ミルネ診療所・ミルネ訪問看護ステーションの開設（1億4,000万円）、認知症予防事業〔動楽教室〕（190万4千円）、排水機場長寿命化事業（3,230万円）、プレミアム商品券発行事業（6,507万8千円）、女性農業者の組織化（29万9千円）、新生児聴覚検査費助成（235万円）、アフタースクール整備事業（2億6,541万8千円）

⑧人材育成と交流の輪づくり

新規 大河ドラマ「麒麟がくる」関連事業 フォーラムと特別展を開催

明智光秀を主役とした2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」の放映に伴い、明智光秀とかかわりのある黒井城跡や赤井（荻野）直正について記念フォーラム・特別展を開催します。

【予算額】64万6千円

文化財課 ☎ 70-0819



(c) 中川英明

⑤産業振興の強化・充実

新規 遺構の保全と登城者の安全確保を 黒井城跡補修工事の実施

地域に親しまれ登城者が多く、また黒井城跡にゆかりがある明智光秀を主役とした2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」の放映に伴い、今後更なる登城者の増加が予想されることから、遺構の保護と登城者の安全確保のため、黒井城跡の補修を実施します。

【予算額】3,200万円

文化財課 ☎ 70-0819

⑤産業振興の強化・充実

新規 新規就農を目指す 農（みのり）の学校の開設

就農を目指す人を対象に、有機農業の栽培技術、農業経営および農村文化を学び実施できる研修施設を4月に開校します。また、ここで学んだ多くの修了生が丹波市に定住し、農業・農村の担い手の一員となる仕組みを構築します。

【予算額】2,023万8千円

農業振興課 ☎ 74-1465



農の学校

⑥農業の持続的発展

新規 丹波の森構想30周年記念事業

丹波の里山整備事業を実施

丹波県民局と丹波市・篠山市が協働し、丹波の森構想30周年記念事業として、丹波の里山整備を踏まえた事業を実施します。

- ・丹波の里山づくり発信事業
- ・「森林を未来につなぐフォーラム」の開催
- ・丹波の里山づくり体験促進事業

【予算額】492万5千円

農林整備課 ☎ 88-5029



⑦森林環境譲与税の活用と丹波の森づくり